

#### 4 専修学校（専門課程）

(1) 表6に示すとおり、令和4年3月の卒業生総数は1,469人で、前年より132人増加している。就職者総数は1,283人で、前年より143人増加している。そのうち県内に就職した者は902人で、前年より101人増加している。就職者総数に対する県内就職率は70.3%で、前年と同ポイントである。

県内就職率を専門分野別で見ると教育・社会福祉（95.0%）、農業（92.5%）及び商業実務（86.5%）が70%以上の高い率になっている。

県外就職者は4ページの表3に示すとおり、381人で前年より42人増加している。県外就職の状況を就職先地方別で見ると、九州・沖縄196人（構成比51.4%）、関東93人（同24.4%）、近畿36人（同9.4%）、中部18人（同4.7%）、中国14人（同3.7%）の順となっている。

進学者総数は72人で、前年より8人減少している。そのうち、県内に進学した者は54人で前年より17人減少している。県内進学率は75.0%で、前年より13.8ポイント低下している。

表6 専門分野別進路状況(専修学校〔専門課程〕)

(単位:人、%)

区 分	総 数			専 門 分 野 別							
				工 業		農 業		医 療		衛 生	
	R4年3月	R3年3月	対前年増減	R4年3月	R3年3月	R4年3月	R3年3月	R4年3月	R3年3月	R4年3月	R3年3月
卒業生総数	1,469	1,337	132	155	193	43	32	699	662	136	104
① 就職者総数	1,283	1,140	143	143	183	40	29	642	599	128	99
	87.3	85.3	2.0	92.3	94.8	93.0	90.6	91.8	90.5	94.1	95.2
	うち県内就職者	902	801	101	89	117	37	28	449	416	80
県内就職率	70.3	70.3	0.0	62.2	63.9	92.5	96.6	69.9	69.4	62.5	72.7
② 進学者総数	72	80	▲8	-	1	3	2	12	10	-	-
	4.9	6.0	▲1.1	-	0.5	7.0	6.3	1.7	1.5	-	-
	うち県内進学者	54	71	▲17	-	-	-	2	8	6	-
県内進学率	75.0	88.8	▲13.8	-	-	-	100	66.7	60.0	-	-
③ 一時的な仕事に就いた者	11	10	1	-	-	-	-	7	7	-	-
	0.7	0.7	0.0	-	-	-	-	1.0	1.1	-	-
	うち県内居住者	9	10	▲1	-	-	-	6	7	-	-
県内居住率	81.8	100.0	▲18.2	-	-	-	-	85.7	100.0	-	-
④ その他総数	103	107	▲4	12	9	-	1	38	46	8	5
	7.0	8.0	▲1.0	7.7	4.7	-	3.1	5.4	6.9	5.9	4.8
	うち県内居住者	81	71	10	11	9	-	32	42	8	4
県内居住率	78.6	66.4	12.2	91.7	100.0	-	-	84.2	91.3	100.0	80.0

区 分	専 門 分 野 別							
	教育・社会福祉		商業実務		服飾・家政		文化・教養	
	R4年3月	R3年3月	R4年3月	R3年3月	R4年3月	R3年3月	R4年3月	R3年3月
卒業生総数	66	50	200	156	2	3	168	137
① 就職者総数	60	41	133	86	-	-	137	103
	90.9	82.0	66.5	55.1	-	-	81.5	75.2
	うち県内就職者	57	37	115	70	-	-	75
県内就職率	95.0	90.2	86.5	81.4	-	-	54.7	59.2
② 進学者総数	6	7	32	44	-	-	19	16
	9.1	14.0	16.0	28.2	-	-	11.3	11.7
	うち県内進学者	5	6	26	43	-	-	15
県内進学率	83.3	85.7	81.3	97.7	-	-	78.9	87.5
③ 一時的な仕事に就いた者	-	-	3	1	-	-	1	2
	-	-	1.5	0.6	-	-	0.6	1.5
	うち県内居住者	-	-	2	1	-	-	1
県内居住率	-	-	66.7	100.0	-	-	100.0	100.0
④ その他総数	-	2	32	25	2	3	11	16
	-	4.0	16.0	16.0	100.0	100.0	6.5	11.7
	うち県内居住者	-	2	20	3	-	-	10
県内居住率	-	100.0	62.5	12.0	-	-	90.9	68.8

(2) 令和4年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況をみると、図8に示すとおり、医療、福祉が767人(59.8%、前年に比べ1.6ポイント低下)で最も多く、次いで情報通信業80人(6.2%、同2.4ポイント低下)、生活関連サービス、娯楽業67人(5.2%、同1.0ポイント低下)、学術研究、専門・技術サービス業64人(5.0%、同3.2ポイント上昇)、サービス業53人(4.1%、同1.2ポイント低下)、宿泊業、飲食サービス業51人(4.0%、同0.3ポイント上昇)の順となっている。

県内就職者を産業別で見ると、図9に示すとおり、医療、福祉が567人(62.9%、前年に比べ3.0ポイント上昇)で最も多く、次いで学術研究、専門・技術サービス業48人(5.3%、同3.2ポイント上昇)、生活関連サービス、娯楽業38人(4.2%、同1.7ポイント低下)、サービス業38人(4.2%、同0.3ポイント低下)、農業、林業35人(3.9%、同0.9ポイント上昇)、情報通信業35人(3.9%、同1.5ポイント低下)の順となっている。

図8 産業別就職状況の推移（専修学校〔専門課程〕）

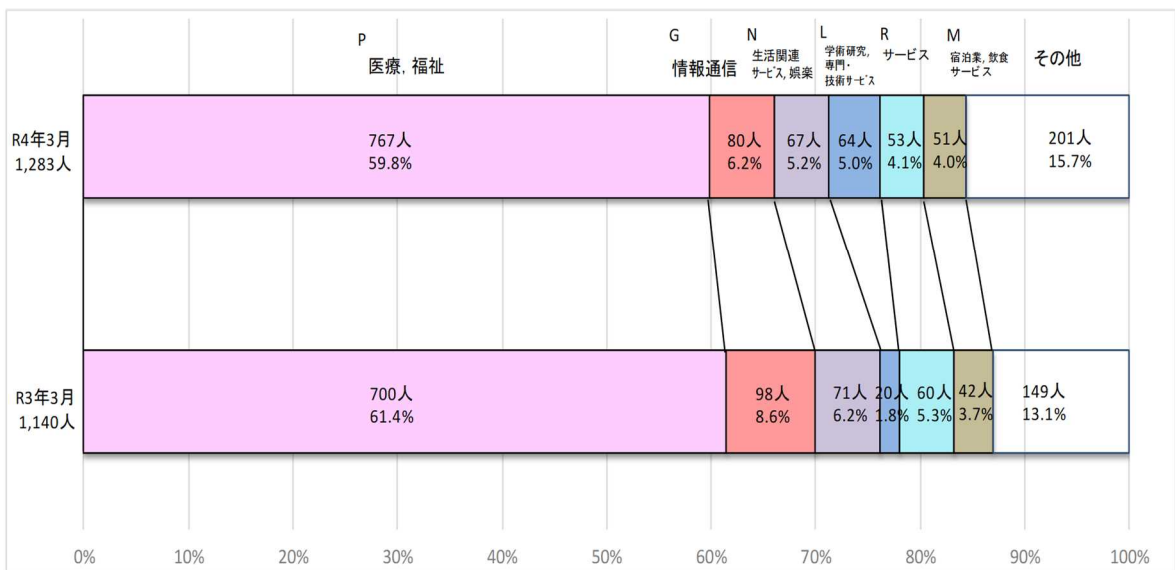


図9 産業別県内就職状況の推移（専修学校〔専門課程〕）

